

教科別 授業創造プラン（調査結果の傾向の分析と日頃の授業に基づく対策）
（ 日野市立平山中学校 音楽 ） 実技教科

今までの授業

- ① 知識・技能について
 - ・知識面においては、ワークを毎時記入することで、丁寧に説明をするように心がけてきた。技能面においては、毎時の導入で、校歌の歌唱指導や発声練習で全体・個別指導をしていくことによって、技能を身に付け、高めることを目標としてきた。
- ② 思考・判断・表現について
 - ・視聴した音楽を感じ取り、歌唱や文章で表現できるよう、その音楽のキーワードや授業の目標（課題）を掲げ、協働的に思考判断し、自らの表現ができるように努めてきた。また、様々な表現あることにも着目するようインターネットで視聴するよう心掛けた。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度について
 - ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞、創作が進められるようICTを活用して進めてきた。

課題

- ① 知識・技能について
 - ・授業数が少ないので、知識の定着が難しい生徒がみられる。技能においては、苦手意識がある生徒も伺えるが、歌唱表現の高い生徒が多いが個人差もあり個別指導に値するようなことは一斉授業では補えないところもある。
- ② 思考・判断・表現について
 - ・音楽の仕組みを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように歌唱や文章で意図をもって表現させるかが課題である。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度について
 - ・毎時ごとに「めあて」を知らせ、本時のゴールを知ること、意欲的に授業に参加できるようにすることが大切であり、主体的に活動するために、協働的な活動が個々の士気を高める活動が必要である。

授業改善の具体的な方策

第1学年

【授業を改善すること】

- ・基礎的な知識や技能を身に付けさせる。その上で発展的な課題へ取り組み、自己の力を引き出す指導の工夫を行う。
- ・音楽への興味関心が高まる教材の選定と指導の工夫を行う。
- ・主体的・対話的で深い学びとなるよう、生徒が自分の考えを整理しながら学習を進められるようワークシートを活用したい。
- ・生徒の発想を否定せず、認めることにより自信をもたせる。
- ・ICTなどを使って、具体的にわかりやすい授業を目指す。

第2学年

【授業を改善すること】

- ・基礎的な知識や技能を身に付けさせる。
- ・一人一人への声掛けを大切に表現する楽しさを味わわせる。丁寧な指導を心がける。
- ・偏った教材にならないよう世界の音楽に着目できる教材と指導の工夫を行う。
- ・主体的で協働的な取り組みを引き出していく指導や評価を行う。
- ・教材にあった表現活動を意欲的に行わせる。
- ・まだ、器楽や創作ができていないので、計画的に活動ができるように工夫する。
- ・興味関心もてる学習内容を工夫し、わかりやすい資料を選定する。
- ・ICTなどを使って、具体的にわかりやすい授業を目指す。

第3学年

【授業を改善すること】

- ・基礎的な知識や技能を身に付けさせる。
- ・一人一人への声掛けを大切に造る楽しさを味わわせる。丁寧な指導を心がける。
- ・積み上げてきた成果を発揮させる教材の設定を行い、達成感を味わわせる。
- ・主体的で協働的な取り組みを引き出していく指導や評価を行う。
- ・高度な音楽に触れ、自らの表現により磨きをかけ、高い表現活動ができるよう取り組ませる。
- ・他人からやらされている音楽活動ではなく、意図した表現活動ができるよう工夫する。
- ・合唱と個人の歌唱の表現力をアップし、達成感を味わわせる。
- ・ICTなどを使い、特に創作活動で具体的にわかりやすい授業を目指す。